



LDKに面する大きな窓も複層ガラスの樹脂サッシに



壁の上部をオーブンにした  
キッチンのパントリー

【PR】

## 勝野大樹 リノベーションで 住み継ぐ暮らし

③

### 断熱改修と間取りの変更

現在リノベーションの工事をしている物件では、主に「断熱改修」と「間取りの変更」を行いました。

断熱改修については、壁、床、天井の全てに断熱材を充填しました。また、寒さの影響が一番出やすい窓などの開口部は、単

板ガラスのアルミサッシを撤去し、複層ガラスの樹脂サッシを新設しました。

こういった工事は、断熱材を入れるために壁・床・天井を撤去する必要があります。また、サッシを交換する際にも外壁の撤去が必要となるため、費用がそれなりに掛かります。

そのため、断熱改修を行なうのであれば、断熱性能の向上と、ライフスタイルに合わせた間取りの変更を行うことが効果的です。

工事中の物件の間取りは、家の北側にあって寒かったキッチンを

日当たりのよい南側に移動すると同時に家の中央にあたる座敷3間をLDKに

変更しました。

### 生活様式に合わせバランスよく

元の住宅の広さを生かし、LDKを広い一室空間としたほか、キッチンのパントリー（収納スペース）や寝室の衣装スペー

スも壁の上部をオーブンにするなど、部屋が広いだけではなく、奥行き



一級建築士 勝野 大樹

【かつの・ひろき】

勝野建築事務所(伊那市)主宰  
毎月「無料家づくり・リノベーション相談会」を実施中。ホームページから気軽に問い合わせを。

ホームページ(QRコード)  
<https://ktn-a.com/>  
TEL 0265-98-8314



と並とまりが両立するよう設計しました。

また、新しい部分と既存の部分がマッチするよう、壁や天井は白を基調とした上で、仕上げの木材などは無垢材を中心に使っています。

設計事務所が行う家づくりは、現在のライフスタイルに合わせた間取りの変更や断熱改修に加え、「デザインとして古い部分を積極的に取り込むなど、さまざまな要素をバランスよく組み合わせる」とを重視しています。もちろん、予算に合わせた部分的な改修も可能です。

その様子を間近に見ていただけるよう12月2日(土)・3日(日)、予約制のオープンハウスを開催します。詳しくは右記からお問い合わせください。

（次回は12月14日号掲載予定）